

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方法

中学校国語

学習指導要領の領域

【知識及び技能】

- 「言葉の特徴や使い方に対する事項」の平均正答率
- ・全国平均を下回っている。

【思考力、判断力、表現力等】

- 「話す・聞く」の平均正答率
- ・全国平均とほぼ同程度である。

【思考力、判断力、表現力等】

- 「書く」の平均正答率
- ・全国平均をほぼ同程度であるがやや下回っている。

【思考力、判断力、表現力等】

- 「読む」の平均正答率
- ・全国平均をほぼ同程度であるがやや下回っている。

●文脈に即して正しく漢字を使うこと。

●事象や行為を表す語彙を理解していること。

●資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。

●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。

●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。

○文脈に即して意味に注意しながら漢字を正しく使うようにする指導の充実。

○音訓を意識し、同音異義語などの意味の違いに注意させる活動の充実。

○意見とそれを支える根拠を明確にして書く指導の充実。

○自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめる活動の充実。

○伝えたい事項とその根拠とを適切に結び付けたり、事実や事柄を具体的に示して書く活動の充実。

○文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるかなど自分なりの意味付けができるような活動の充実。

本校の概要

学習指導要領の領域

- 「数と式」の平均正答率
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・全国平均を上回っている。
- 「関数」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。
- 「データの活用」の平均正答率
 - ・全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- 目的に応じ式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。
- 多角形の外角の意味を理解すること。
- 一次関数について、 x に対する y の増加量を適切に求めること。
- 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由の数学的な表現を用いて説明すること。

改善の方法

- 文字を用いた式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明できるような活動の充実。
- 辺や角の性質を具体的に確認したり、簡単な図形に置き換えて考察したりする活動の充実。
- 関数について、表、式、グラフを関連付けて変化や対応の様子を捉える活動の充実。
- データの分析の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する活動の充実。

今回の調査における課題

学習指導要領の領域

【「エネルギー」を柱とする領域】

- 身近な電化製品の電気回路について、抵抗に関する知識が概念として身に付いていること。

【「粒子」を柱とする領域】

- 元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いていること。

【「生命」を柱とする領域】

- 植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の断面図や根の構造について適切に表現すること。

【「地球」を柱とする領域】

- 大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて地層の重なり方や広がり方を推定すること。

改善の方法

○身近なものを教材として位置付けるなど日常生活との関わりを重視した学習活動の充実。

○化学変化や原子や分子のモデルを用いて考察させるなど、自然の事物・現象を質的・実体的な視点で捉える学習活動の充実。

○生命を維持する働きに関する知識を基にいろいろな生物について考察する学習活動の充実。直接観察が難しい場合には、博物館等で公開している動画等を1人1台端末で視聴することも考えられる。

○地層モデルを活用したり、地層の広がり方や傾きを空間的な視点で捉える学習活動の充実。

令和7年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙について

札幌市立南が丘中学校

1. 当てはまる 2. どちらかといえば当てはまる の回答(%)の合計と全国との比較

全国平均より上回っている主なもの

質 問 事 項	本校%	全国%	差%
◇人が困っているときは、進んで助けている。	94.1	90.9	+3.2
◇普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。	95.0	91.6	+3.4
◇自分と違う意見について考えるのは楽しい。	82.3	79.2	+3.1
◇授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。	79.9	74.8	+5.1
◇授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	97.4	91.9	+5.5
◇総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	88.2	79.5	+8.7
◇読書は好きだ。	79.0	61.6	+17.4
◇これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。	84.9	75.7	+9.2
◇インターネットを使って情報を収集することができる。	94.9	91.5	+3.4
◇ICT 機器を使って、図表グラフなどを使ってまとめることができる。	75.6	63.3	+12.3
◇ICT 機器を使って、発表スライドを作成することができる。	90.8	76.6	+14.2
◇1～2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫した。	69.8	63.0	+6.8
◇学級の生徒との間で話し合う授業を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気がついたりすることができた。	91.6	84.7	+6.9
◇あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	90.8	84.3	+6.5
◇学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	77.3	84.0	+6.7
◇道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学校やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	97.5	91.5	+6.0
◇国語は得意ですか。	57.2	51.4	+5.8
◇国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文の段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか。	76.5	73.6	+3.0
◇数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っています。	64.8	58.6	+6.2
◇理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友だちの学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか振り返っている。	79.0	68.4	+10.6

本校では、札幌市が掲げる学校教育の基盤である「人間尊重の教育」を実現するために、「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を推進しております。生徒質問紙の結果を踏まえ、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを進めてまいります。

「総合的な学習の時間」や道徳の授業について、肯定的な回答の割合が高く、ICT 機器の活用やコミュニケーション能力を向上させる良い機会となっていると考えられます。また、読書が好きな割合も極めて高くなっています。今後も現在の取組を継続し、多様な学びの場を提供することで、生徒の学びと成長をさらに支援していきます。

今回調査があった国語、数学、理科の学習項目に関する質問でも、全国平均を上回っている肯定的な回答がみられます。この状態を更に発展させられるよう、少人数指導・TT 指導等の指導の工夫・改善に努めるなど、実効性のある指導を今後も継続していきます。

全国平均より下回っている主なもの

質 問 事 項	本校	全国	差
◆将来の夢や目標を持っている。	66.4	67.5	-1.1
◆わからないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することができる。	75.6	77.5	-1.9
◆地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	83.2	83.4	-0.2
◆ICT 機器で文章を作成する（文字、コメント）ことができる。	82.4	83.6	-1.2
◆1～2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	76.4	77.7	-1.3
◆学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	73.1	73.4	-0.3
◆国語の授業で、文書を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えている。	71.4	74.4	-2.6
◆数学の勉強は得意である。	37.0	46.0	-9.0
◆理科の勉強は得意である。	40.3	50.7	-10.4

全国平均より下回っていても「全国平均とほぼ同程度」のものが比較的多い結果となりました。

現在、将来の夢や目標を持っている本校の中学3年生は66.4%ですが、この状況は生徒たちが「自分さがし」の途中にあり、夢や目標を見つけるための探究をしている証拠ともいえましょう。

生徒たちは、これからの時間を使って自分の興味や情熱を見つけ出すチャンスをもっています。

しかしながら、夢や目標は、変わりうるものであり、成長する過程で新しい夢や目標が見えてくることもあります。現在の多様な価値観や経験が育まれる環境においては、さらに多様な夢や目標をもつ人々との出会いも今後増えることでしょう。自分なりのペースで進んでいくことが大切です。

ICT 機器の活用については、図表やグラフ、スライド等の画像づくりには「自信」があるものの、それに文章やコメントをつける場合は、「少し心配」という生徒の姿も垣間見えます。

これらの諸課題の改善にむけて、生徒の興味や理解を引き出し、実生活との関係に気付くことができるような授業の改善・工夫をしていきます。また、教師が生徒の意見を反映し、より魅力的で参加型の授業づくりに努力します。学習意欲の育成、探究的な授業の推進、実験を通じた学びの強化などを重点にした学習指導を推進していきます。

以上の結果を踏まえ、12月上旬に実施予定の学校評価アンケートの結果も加味しながら、今後の本校の教育活動に生かしたいと考えております。

御家庭におかれましては、家庭学習の充実（「復習」に重点をおいた学習時間の確保）に、ご協力をいただき、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきますよう、引き続きよろしくお願いいたします。